

令和7年 JERT 主催「救急撮影講習会 in 富山～救急の知識と撮影技術か～」参加報告

渡邊 晶

(社会福祉法人恩賜財団済生会新潟県中央基幹病院 放射線部)

令和7年4月19日に済生会富山病院で開催された救急撮影講習会に現地にて受講させていただきました。(Hybrid 開催)

今回の教育講演、技術講演を拝聴し我々は「診療放射線技師」と名乗る以上、「技」を使い、見せる、治療に繋がる画像を提供することが任務であり、そのために必要なポジショニングで良い撮影をする、病気・疾患・治療方法を知る、必要な患者情報を得ることが非常に重要であることを再確認することができ、その結果撮影した画像が現時点での診療やその先の患者さんの人生に繋がることは診療放射線技師冥利に尽きると思いました。

特別講演では災害医療センターの一ノ瀬先生から胸部単純X線画像についてのお話がありました。おそらく診療放射線技師の人生の中で一番撮影する画像であると思いますが、私自身撮れるけど詳しく読める自信がない検査です。しかし一ノ瀬先生のお話を伺い、私の視野がいかにか狭いまま検査をしていたか、見るポイント・情報量はたくさんあることに気付きました。実際に翌診療日から撮影する際には伺ったポイントを確認しながら検査をするように意識が変わりました。このような意識を変えられる機会を得ることができ非常に幸運でした。そして今回がシリーズ1ということで次回も今から楽しみです。

今回の講習会を受講して知識や技術、そして救急現場における診療放射線技師の役割の再確認をすることができました。今後も今回のような原点回帰となる講演はぜひ続けていただきたいです。

最後になりますが、講習会を主催していただきました。JERT の皆様、講師の先生方、現地スタッフの皆様に御礼申し上げます。皆様の益々のご隆盛を心よりお祈りいたします。

令和7年5月吉日

